

授業科目

看護研究

担当教員名 松井 由美子、西川 薫、宇田 優子、下山 博子	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

看護学における教育や実践など幅広い分野での看護研究の方法について基盤となる知識を修得する。その基礎的な知識に基づき自らの研究に応用できる力を身につける。

授業の目的

看護学の専門知識や看護技術の開発など、看護実践に応用できる看護研究能力を修得する。また、様々な研究に触れ自らの研究計画に活用する。

学習目標

- 1.国内・国外の看護研究動向を認識し、看護研究の現状と課題を把握し、討議できる。
- 2.看護学における研究の役割を理解し、研究成果の臨床への活用、研究プロセスについて理解する。
- 3.看護学で用いられている量的研究について理解し、討議できる。
- 4.看護学で用いられている質的研究について理解し、討議できる。
- 5.自らの研究の間および研究計画を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	看護研究とは：意義と役割 研究プロセス・看護研究の世界の発見	講義・ディスカッション	松井 由美子
2	研究プロセス：研究問題と目的・関連文献のレビュー	プレゼンテーション・ディスカッション	松井 由美子
3	研究プロセス：概念枠組み・目的及び仮説	講義・ディスカッション	松井 由美子
4	文献クリティーク	講義・ディスカッション	西川 薫
5	倫理と研究	講義・ディスカッション	西川 薫
6	量的研究デザイン：様々なデザインの理解と選択	講義・ディスカッション	宇田 優子
7	介入研究とは：内容と過程	講義・ディスカッション	宇田 優子
8	看護における測定方略・データ管理	講義・ディスカッション	宇田 優子
9	質的研究デザイン：データ分析・解釈・研究の質の担保		下山 博子
10	質的研究デザイン：様々なデザインの紹介	講義・ディスカッション	下山 博子
11	質的研究方法の実際	講義・ディスカッション	下山 博子
12	それぞれの研究の間を発表	プレゼンテーション	松井 由美子 他
13	SPSSの基礎的的操作法1	演習	松井 由美子 他
14	SPSSの基礎的的操作法2	演習	松井 由美子 他
15	研究計画書の発表・まとめ	講義・ディスカッション	松井 由美子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に指定しません。					
参考書	看護研究入門-実施・評価・活用	バーンズ&グローブ	エルゼビア・ジャパン		8,000円+税	
その他の資料						

評価方法

プレゼンテーション60%程度 ディスカッション40%程度

履修上の留意点

積極的に討議に参加する

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：木曜
連絡先：matsui@nuhw.ac.jp
授業に関する質問などは、メールアドレスまでご連絡ください。